

平成 23 年 10 月 31 日

週刊新潮と週刊文春
の
橋下氏への嫌がらせ記事への緊急声明

自由同和会中央本部

週刊新潮と週刊文春は、平成 23 年 10 月 27 日発売の 11 月 3 日号において、いずれもが大阪府知事の橋下徹氏の特集記事を掲載した。

これは、橋下氏が大阪府知事を任期途中にも係わらず、知事を辞任し、大阪市長選挙に挑むことに起因しているものと推測されるが、その特集記事の内容には、橋下氏とは何ら関係のない、伯父や甥、そして、橋下氏が幼い頃に自殺した実父のことを持ちだし、暴力団との係わりや犯罪者がいる一家と、出自と絡めて橋下氏を貶めている。

記事の内容は、橋下氏を同和関係者とし、同和関係者は犯罪者が多く、同和地区は犯罪者の巣窟だと言わんばかりで、とても容認できるものではない。

週刊新潮を発行する新潮社は、酒鬼薔薇事件でも、少年法で禁止されている少年の顔写真を掲載し、法務省人権擁護局から違法性を指摘され、勧告を受けている過去があることなどを思料すれば、販売部数が伸びることであれば、人権侵害になることなどは全く勘案せず、平気で法律を破ることも厭わない出版社であろう。

今回の特集記事は、私ども同和運動団体や関係行政皆様の長年の同和問題解決への取り組みに水を差す、悪質な差別助長記事であると、私どもは断定する。

よって、全国に散在する同和関係者に謝罪するためと、この差別助長記事を読み誤解を与えた国民にお詫びするため、近日に発行する週刊新潮に、謝罪とお詫びの記事を掲載することを要求するものである。